

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第40回本部員会議 次第

日 時：令和3年6月18日(金)
11時～11時30分
場 所：危機管理センター
災害対策本部室

あいさつ

議 題

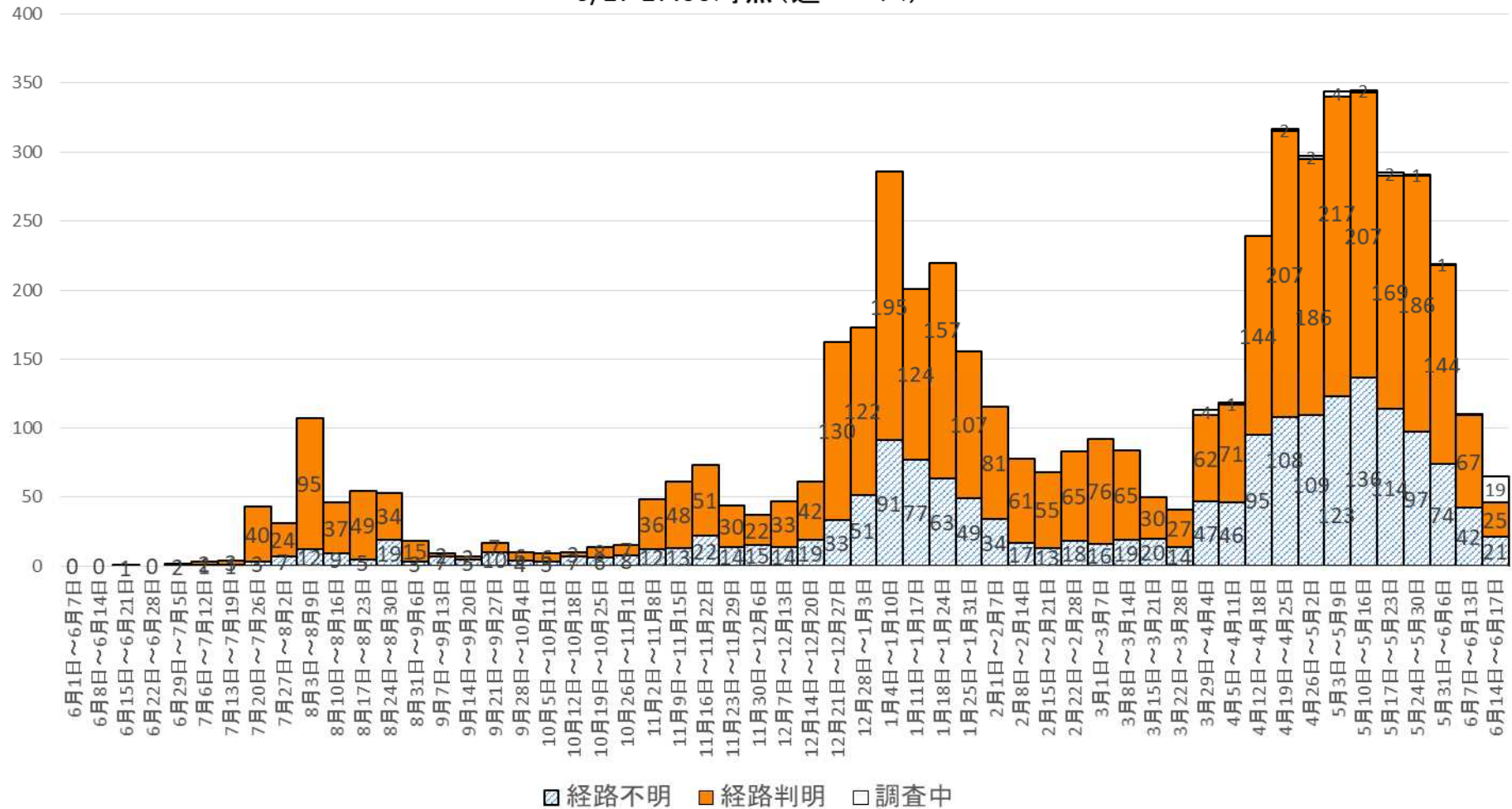
- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) コロナとのつきあい方滋賀プランに基づく対応について
- (3) 新型コロナウイルスワクチン接種の推進について
- (4) その他

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(6/17現在)

1)①流行曲線(公表日別)

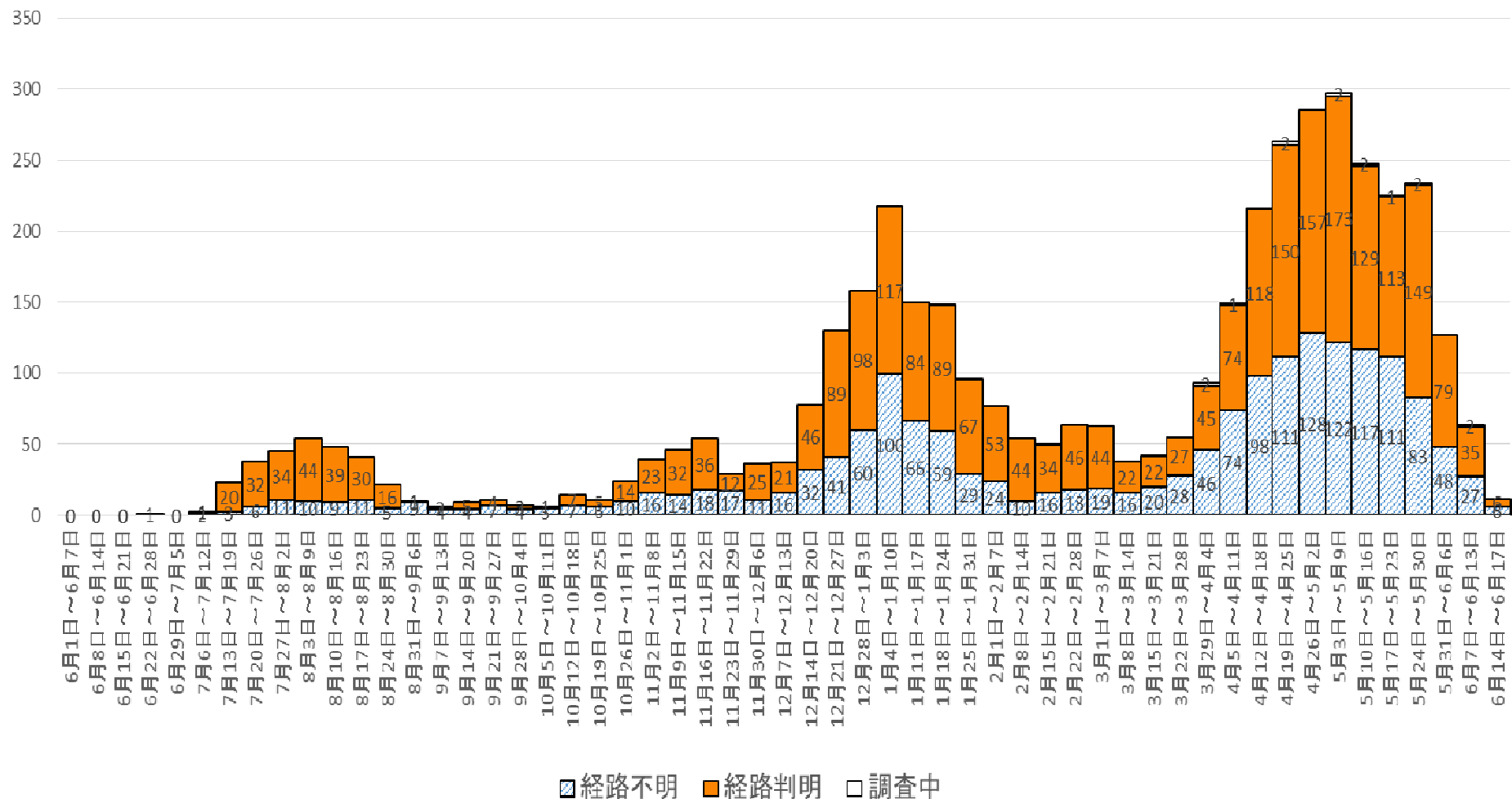
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
6/17 17:00時点(週ベース)



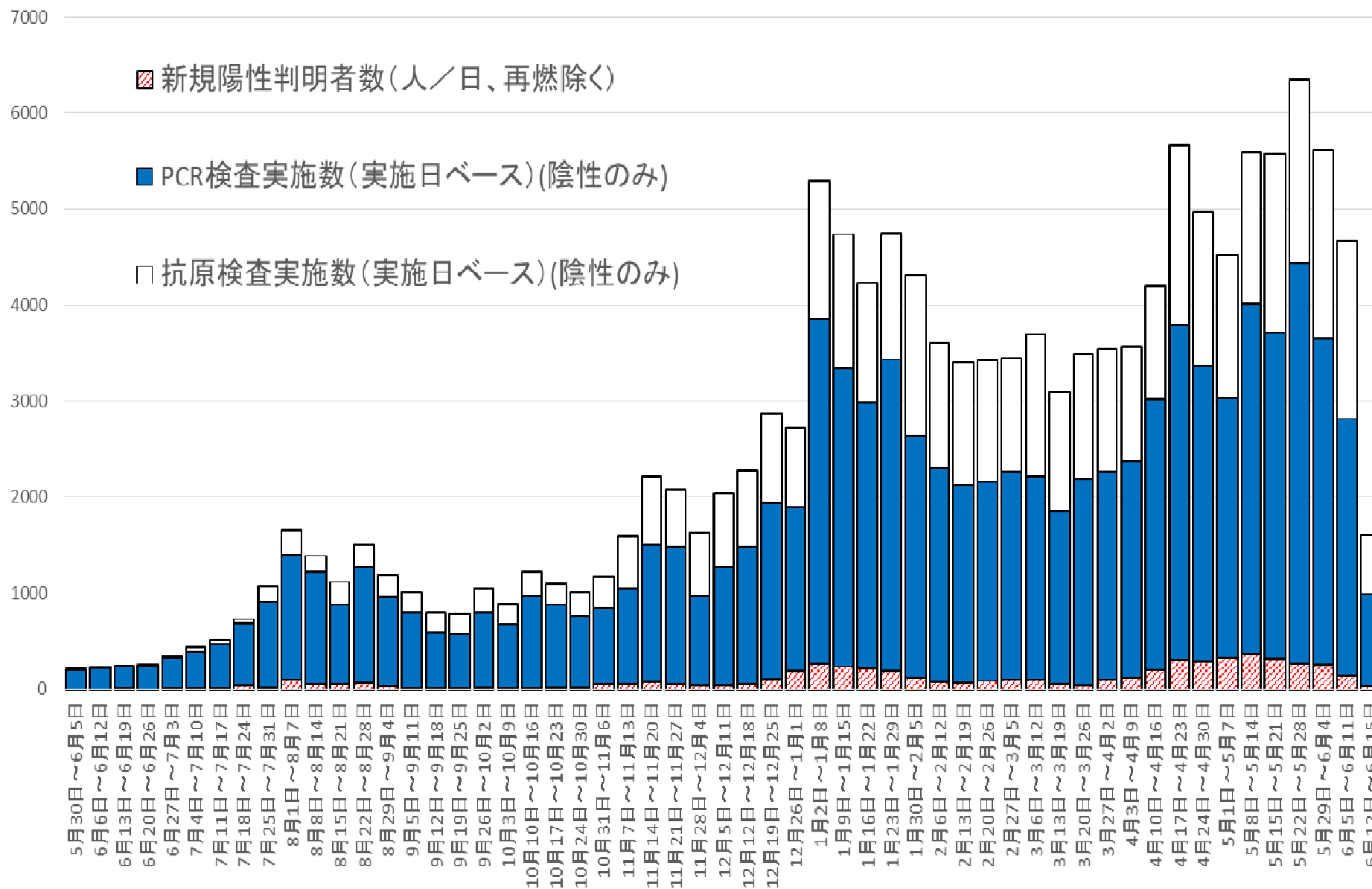
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(6月17日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)6/17 17:00現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

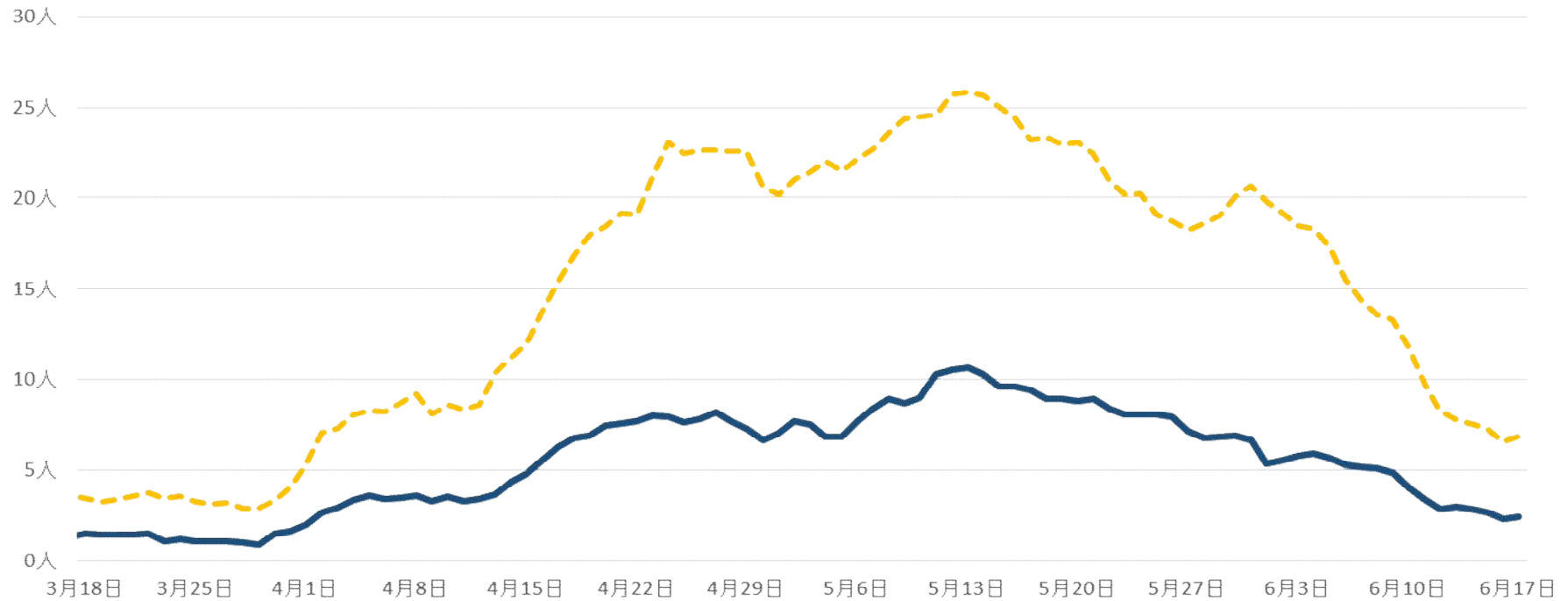


3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、6月15日現在の陽性率は2.3%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移



--- 直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数

— 直近1週間における人口10万人
当たりの経路不明の新規報告数

5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修理待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	372	156	148	8	216	400	40	37	3	129	231

6) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	98,527	207	151	6	43	102	18	38	5,175	88	
(うち行政検査分)	31,616										
(うちその他検査分)	66,911										
	(うちPCR検査判明分)	4,096					(うち自宅待機)	4)			
抗原検査数	45,137						(うち自宅療養)	14)			
	(うち抗原検査判明分)	1,374									

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺) が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7) その他県内の感染状況

①病床のひっ迫具合	最大確保病床の占有率※1	41.9%	③直近1週間のPCR等陽性率※4	2.3%
	現時点の確保病床数の占有率※2	41.9%	④直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	6.9人
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率※3	15.4%	⑤直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※5	少ない
	うち重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率	15.4%	⑥直近1週間における感染経路不明割合	35.1%
②人口10万人当たりの全療養者数		15.1人		

※1 最大確保病床の数(372床)に対する割合

※2 確保済みの病床等の数に対する割合

※3 最大確保病床の数(52床)に対する割合

※4 検査実施日ごとの件数に基づく陽性率

※5 直近一週間の陽性者数が先週と比較して多いか少ないか記載

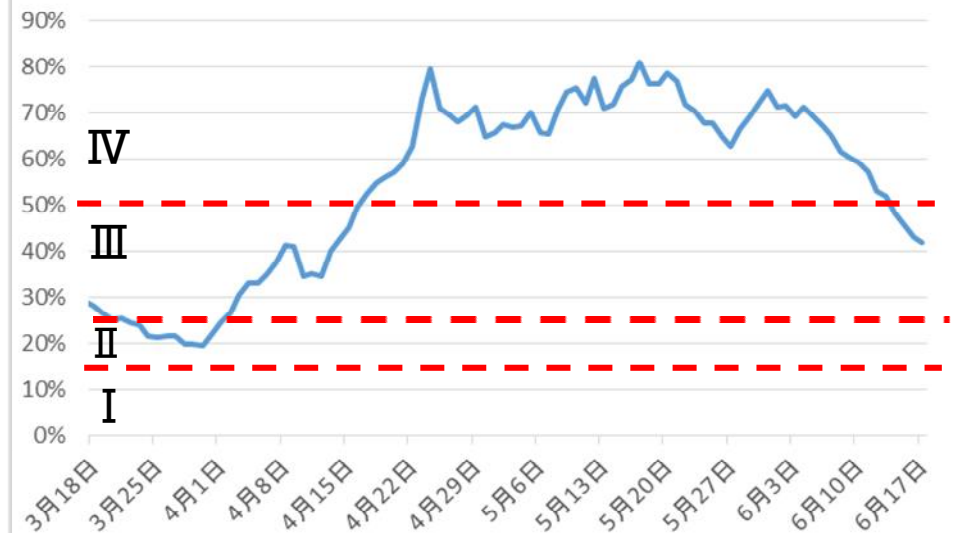
重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
6人	2人	52床	34人	4,546件

8) その他の県内の感染動向

最大確保病床の占有率



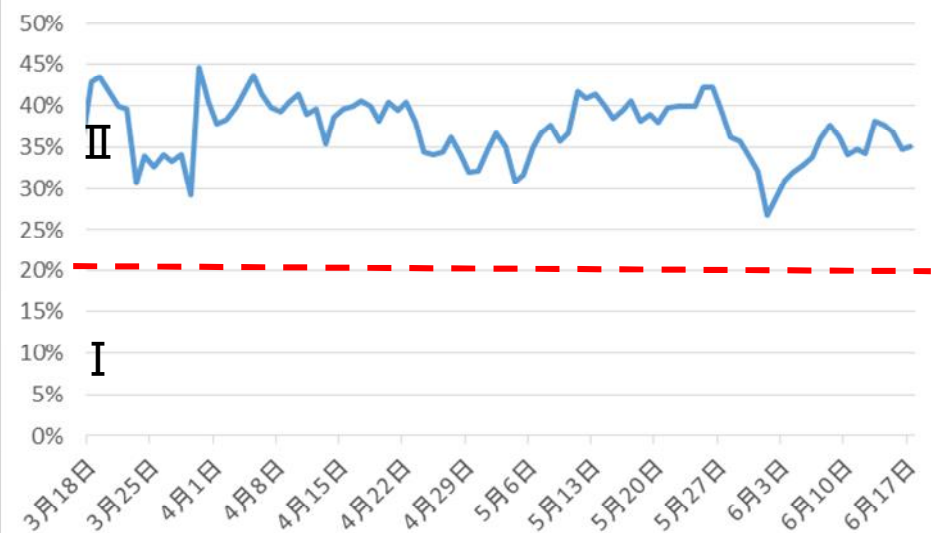
現時点の確保病床数の占有率



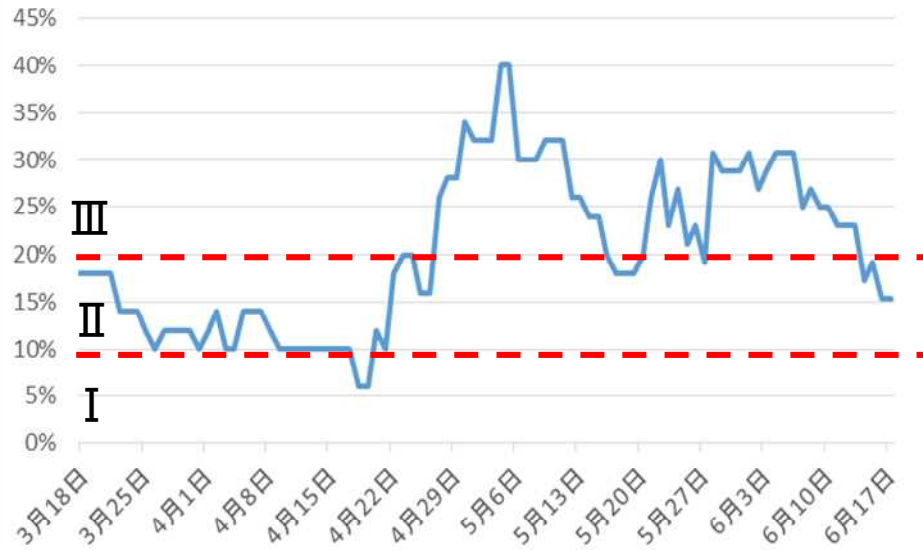
人口10万人当たりの全療養者数



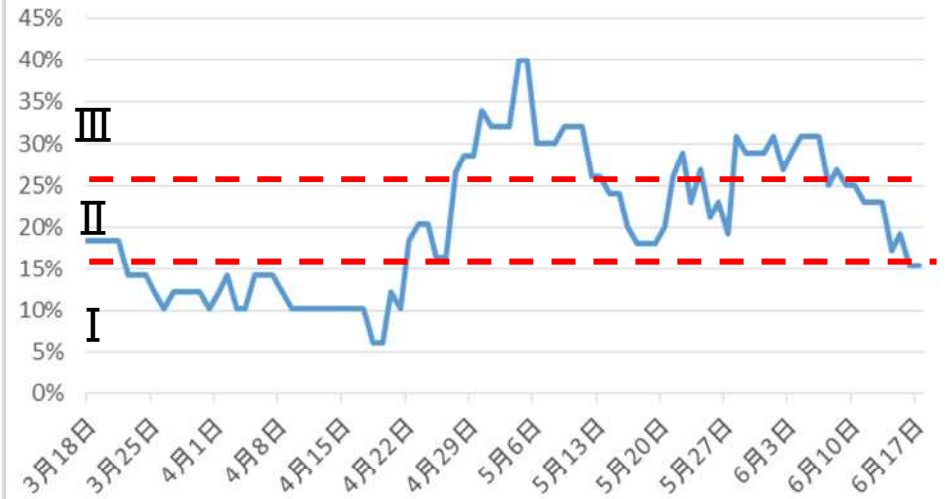
感染経路不明割合



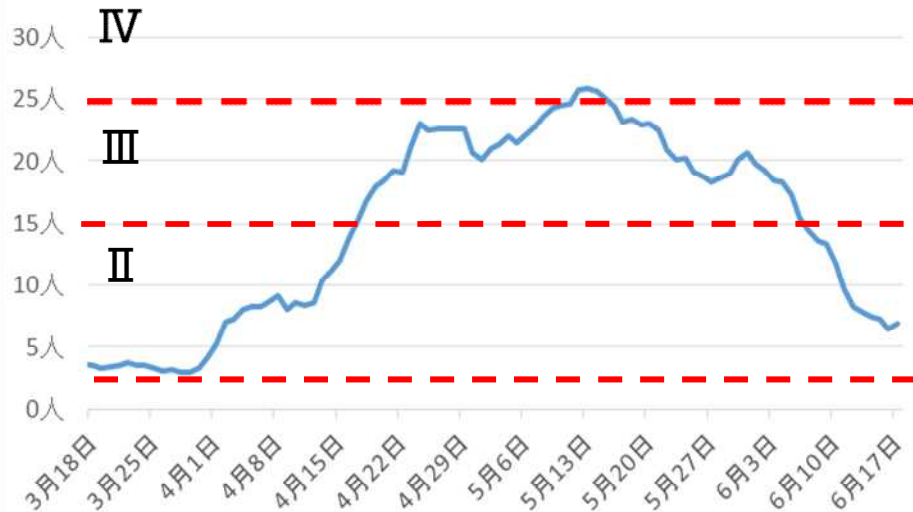
重症者用病床の最大確保病床の占有率



重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率



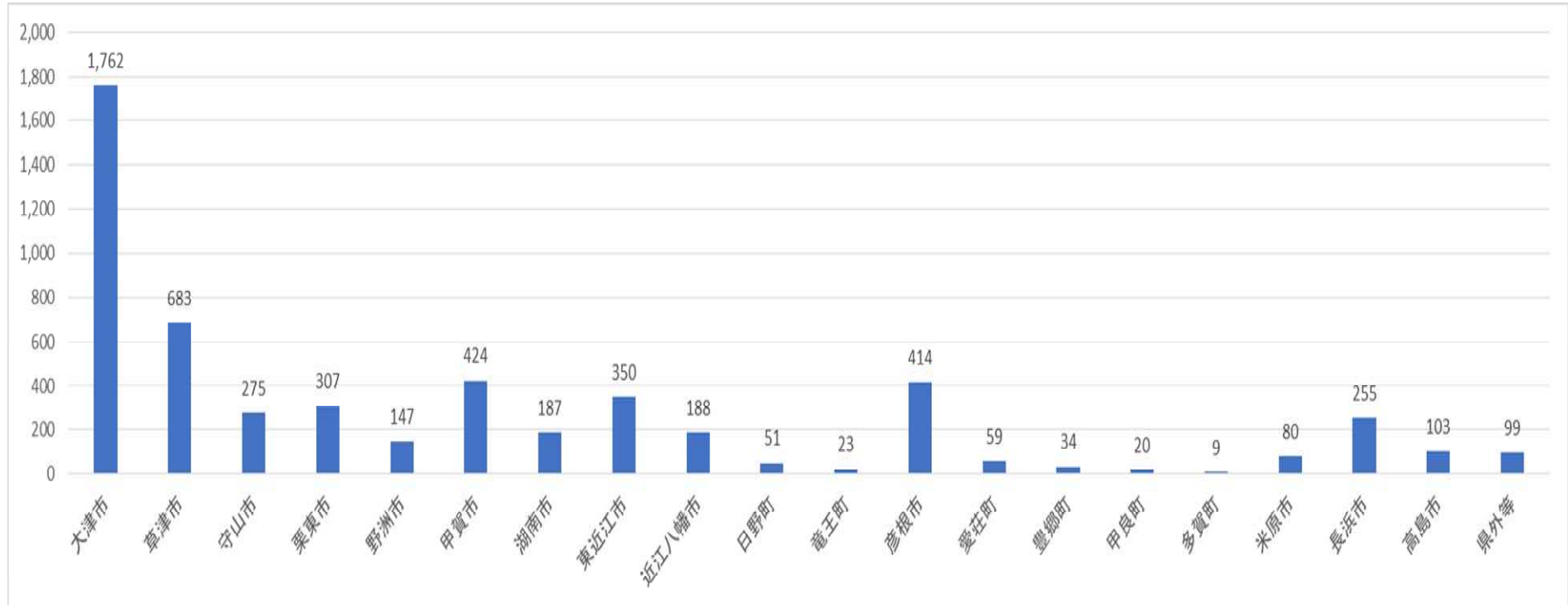
直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



9)性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	2,842
女性	2,376
非公表(10歳未満)	252
計	5,470

10)市町別陽性者数



11)4月以降に発生したクラスターの状況

公表名	陽性者数	始期	公表名	陽性者数	始期
事業所⑧	6	4月8日	飲食店⑩	4	5月11日
会食⑥	6	4月13日	会食⑧	7	5月11日
学校⑥	7	4月7日	飲食店⑪	5	5月10日
学校⑦	11	4月15日	飲食店⑫	11	5月11日
事業所⑨	8	4月13日	飲食店⑬	9	5月6日
飲食店⑦	5	4月15日	会食⑨	5	5月17日
学校⑧	15	4月21日	介護関連事業所⑬	15	5月19日
医療機関⑪	13	4月14日	保育関連施設⑤	5	5月19日
事業所⑩	5	4月21日	会食⑩	4	5月18日
事業所⑪	5	4月23日	事業所⑯	41	5月26日
飲食店⑧	7	4月24日	飲食店⑭	13	5月24日
事業所⑫	8	4月23日	集会①	11	5月20日
事業所⑬	20	4月22日	飲食店⑮	6	5月27日
飲食店⑨	6	4月27日	飲食店⑰	5	5月23日
学校⑨	18	4月26日	飲食店⑱	8	6月3日
会食⑦	6	4月28日	医療機関⑬	22	6月3日
学校⑩	8	4月24日	飲食店⑲	7	6月1日
障害福祉関連事業所②	24	5月2日	学校⑪	6	5月29日
事業所⑭	16	5月1日	医療機関⑭	8	6月14日
医療機関⑫	6	5月3日	学校⑫	9	6月1日

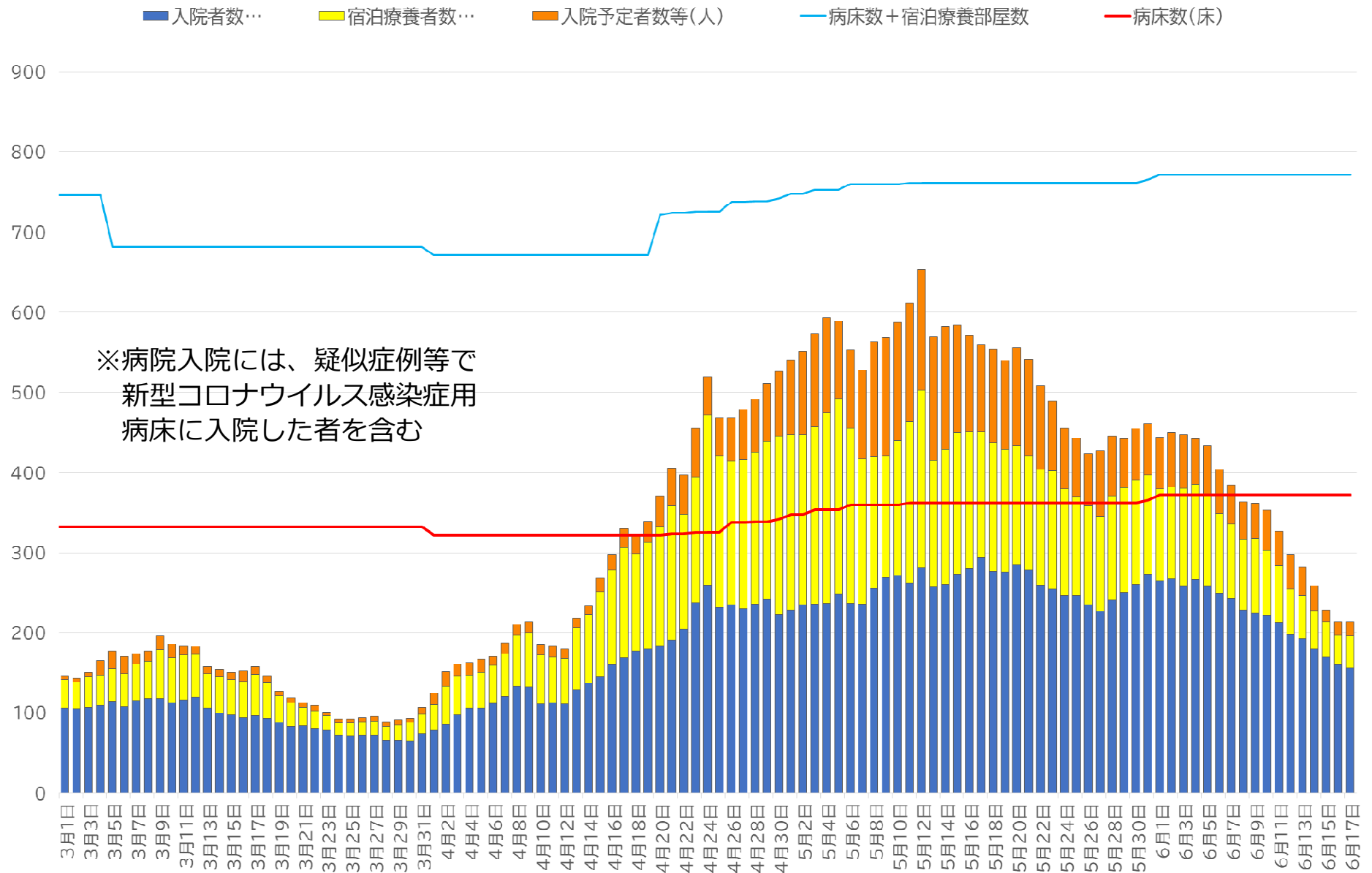
※県内において確認された陽性者数

12)変異株の発生状況

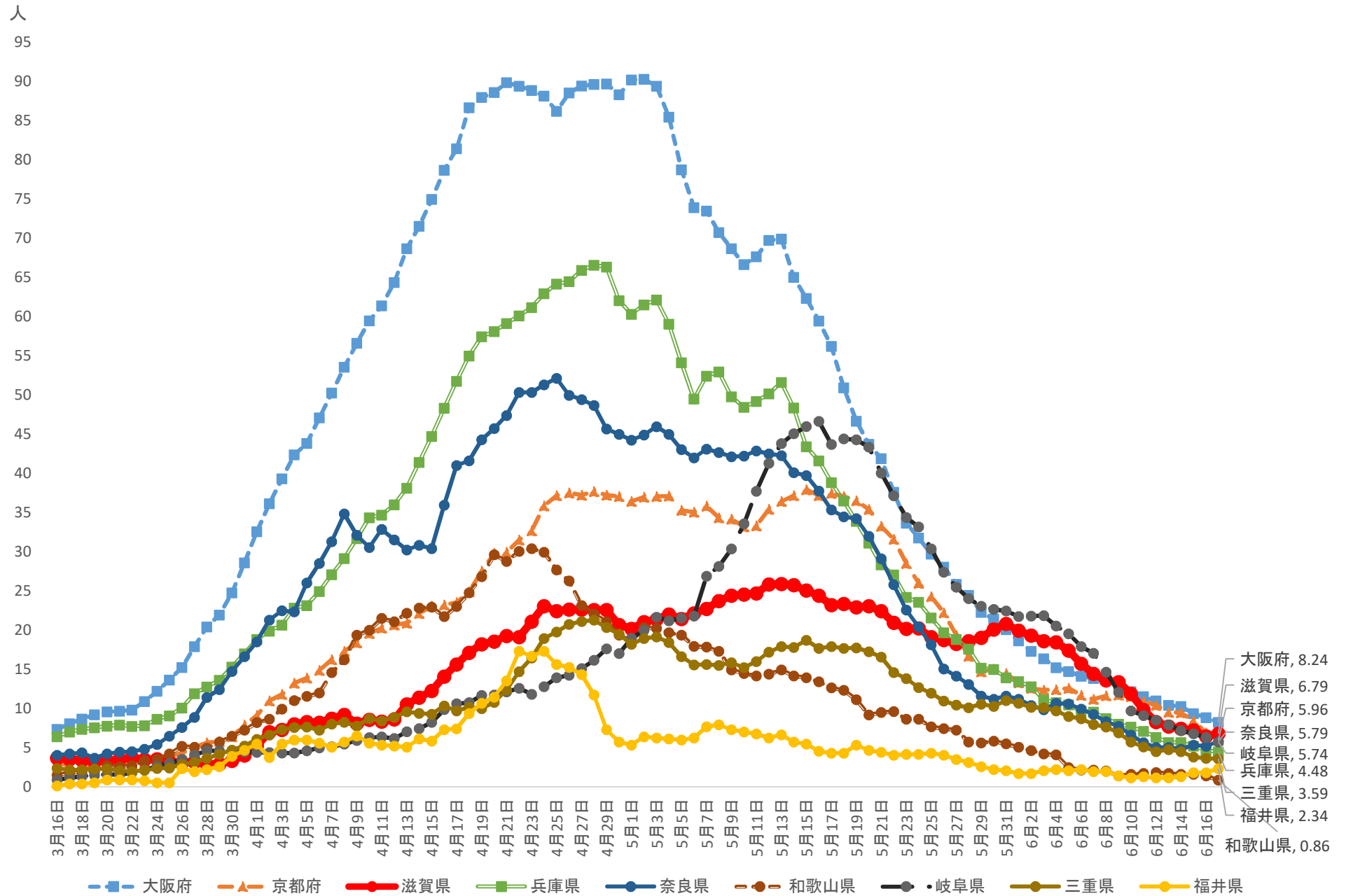
①変異株に関する検査状況

検査実施月	変異株PCR検査の検査件数		変異株PCR検査の陽性件数		変異株PCR検査の陽性者率	
	N501Y	L452R	N501Y	L452R	N501Y	L452R
2月	426件	—	2件	—	0.5%	—
3月	186件	—	8件	—	4.3%	—
4月	385件	—	292件	—	75.8%	—
5月	533件	—	461件	—	86.5%	—
6月	232件	144件	213件	0件	91.8%	—
計	1762件	144件	976件	0件	55.4%	—

入院医療体制について

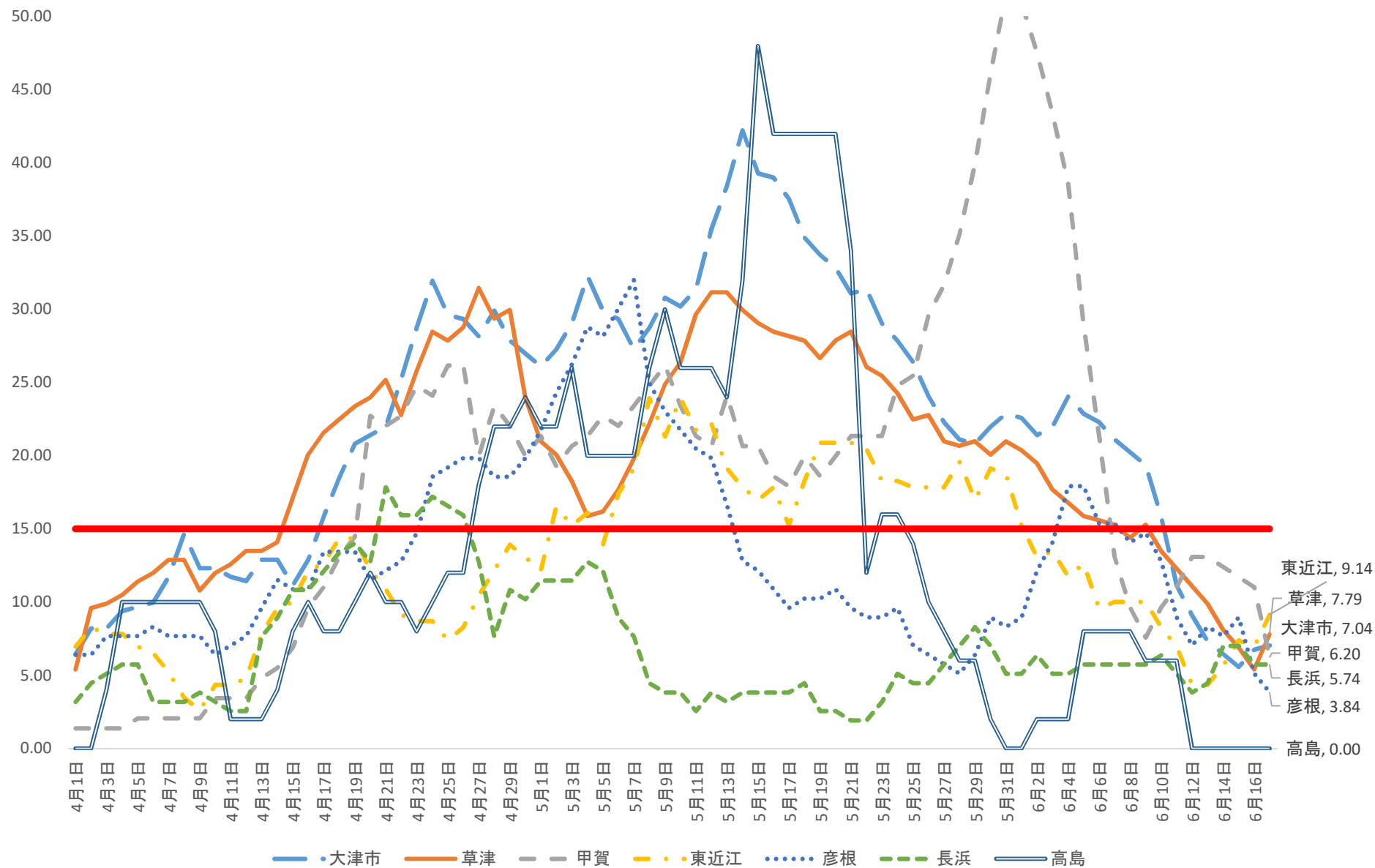


近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(3/15-6/17)

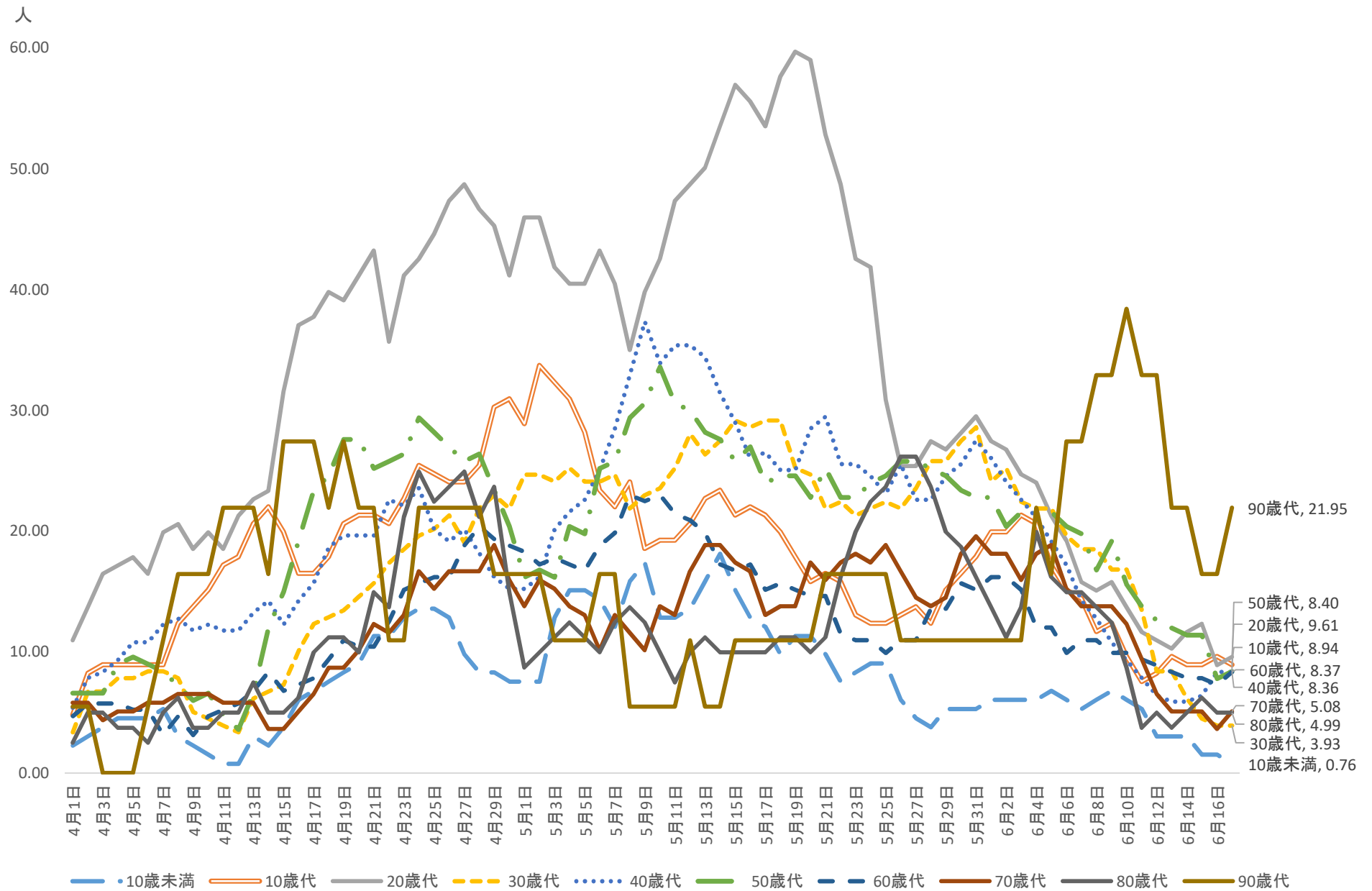


保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数)(4/1~6/17) 日別・公表日

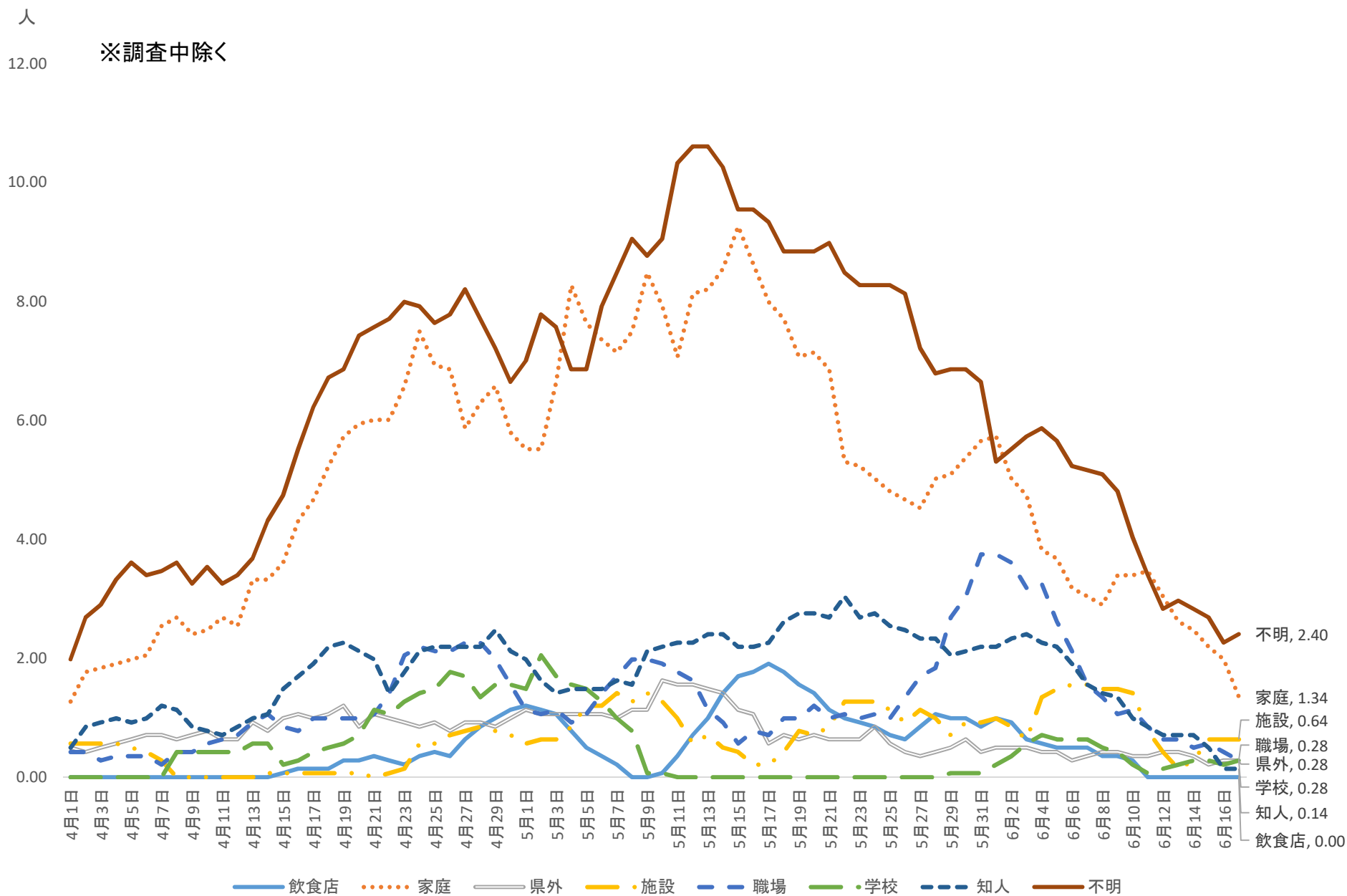
人



滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (4/1~6/17) 日別・公表日



滋賀県 感染経路別の10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (4/1~6/17) 日別・公表日

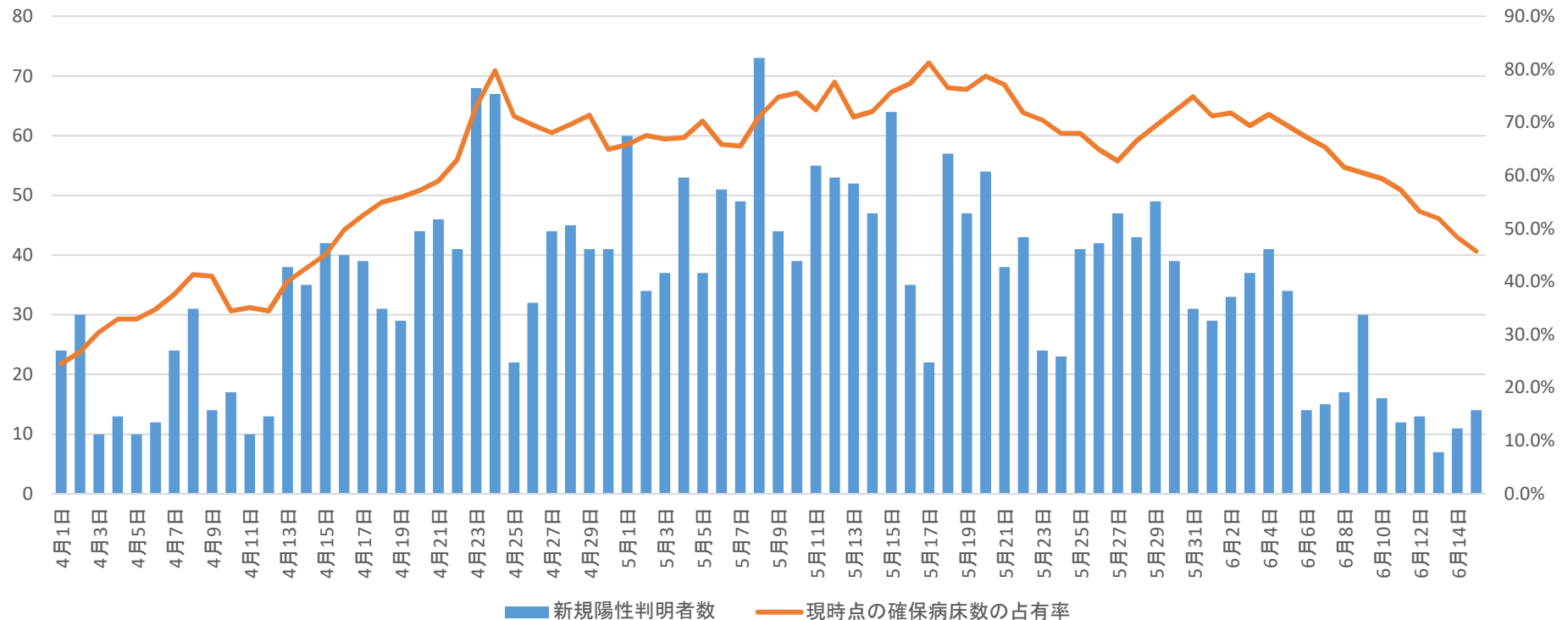


評価

- 近隣府県では、新規患者数は減少傾向にあり、本県においても減少傾向にあります。病床のひっ迫も解消されつつあり、医療体制の非常事態を脱した状況と考えます。
- ただし、病床の占有率はステージⅢ（警戒ステージ）の水準にあり、6月以降も複数のクラスターが発生するなど、未だに予断を許さない状況であるため、対策を維持する必要があります。
- クラスターは、事業所、飲食店や医療機関等様々な場所で発生しており、一人ひとりがウイルスを持ち込む可能性があることを認識し、感染リスクとなる行動を避けることが重要です。
- 飲食店でのクラスター発生を防ぐため、利用者は自身の感染対策と併せて、感染対策が十分にとられている店を選択する必要があります。また、飲食店の店名公表が続いているため、もしサポ滋賀の利用を推奨していく必要があります。
- どのような場面でも家族以外の人との距離を確保することおよび3密を回避することが必要です。
- ワクチン接種後間もなく感染したと考えられる患者が複数報告されています。ワクチンの効果は、2回目接種1週間後以上経過してから期待できますが、接種後も引き続き基本的な対策を継続してください。

今後の医療体制について

1. 新規陽性患者数および病床の状況について



- 4月以降、新規陽性患者数の増により病床のひっ迫が継続的に認められた(4月17日以降、6月13日まで継続して病床占有率が50%超)ものの、6月以降、新規陽性患者数に減少傾向が認められ、病床のひっ迫が解消されつつある状況にある。
- 病床全体の占有率は下降傾向にあるものの、6月以降も複数のクラスターが発生するなど、未だに予断を許さない状況にある。

2. 医療体制の非常事態における対応について

- 病床のひっ迫した状況からは脱しつつあり、また、日々の感染状況のモニタリングによると、現時点において、今後の急激な感染の再拡大は予測されないことから、医療体制の非常事態(4月26日～)は脱したものと考える。

- 4月23日より実施していた医療資源を重症者・リスクの高い方に重点化する「病床ひっ迫時における入院勧告・措置の対象者への臨時的な取扱い」を終了する。
- 同じく4月23日より実施していた数週間の緊急的な患者対応方針に基づく運用を終了する。
 - ✓ 未だ4月以降の感染が収束したとはいえ、新たな変異株の流行が予測されるなど今夏以降の感染動向が不明であることから、今後1か月を目途として、一般医療との両立の観点から確保の継続が困難な病床を除き、緊急的に確保した病床を含む現在の確保病床数をできるだけ維持する方向で各医療機関と調整を行う。

宿泊療養体制の確保・充実について

1. 目的

- 4月以降の感染拡大における課題を踏まえ、今後の感染拡大に備えるためにも、実効性のある運用が可能となるよう体制を整備するとともに、病床ひっ迫時において、多数の感染者の受入れを想定し、医療機能を強化した宿泊療養体制を整備する。

4月以降の主な課題

- 清掃方法について事業者と見直しなどを行い、稼働率の向上を図ったが、感染の拡大に伴い多数の療養者が利用することになったため、感染拡大時には清掃・修理待ちの部屋が増加し、確保部屋数の約6割の稼働率であった。
- 今冬の状況と比較すると4月以降において、症状悪化による転院事例が一月当たり約2.6倍に増加している。また、転院された患者も4月以降の全療養者の約9%を占めることから、症状が悪化する患者を想定した体制の構築が必要。

2. 対応

①新たな宿泊療養施設の開設(ホテルルートイン草津栗東(栗東市))

現行の病床・宿泊療養施設確保計画、最終フェーズにおいて750名の療養者(うち宿泊療養者400名)を想定。

現状の稼働率を勘案すると、宿泊療養施設の受入可能数400名の達成には670室が必要(現状400室)なため、現行計画の実効性を確保するため第4の宿泊療養施設を開設する。

②緊急時に備えた医療機能の強化

病床ひっ迫時において医療機関の負担を軽減し、特に入院が必要な方に対する病床を確保するためにも、特定の宿泊療養施設において、療養者の症状が急変するなどの緊急時に備え、必要な医療行為を実施できる体制を整備する。

- ✓ バックアップ病院の協力のもと、療養者の症状悪化時には医師の判断により必要に応じて(酸素療法や投薬等の)医療行為を実施できる体制を整備。
- ✓ 併せて、バックアップ病院に勤務する医師、看護師等が24時間フォローできる体制を確保し、対象患者の経過観察などを行うことにより、安心して療養できる環境を整備する。

新型コロナウイルス感染症 クラスターの分析⑤

クラスターの発生状況に係る分析⑤

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、これまでに発生したクラスターについて、次のとおりまとめました。

(令和2年4月から令和3年6月10日までの集計)

分類	場所	件数	計	クラスター班 対応事例	クラスター班 延人数
職場	事業所	16件	63件	3件	7人
	医療機関	16件		10件	42人
	介護関連事業所	13件		6件	21人
	学校	10件		1件	2人
	保育関連施設	5件		-	-
	障害福祉関連事業所	3件		2件	6人
飲食	飲食店	18件	28件	1件	1人
	会食	10件		3件	4人
その他	集会	1件	1件	-	-
合計		92件	92件	26件	83人

この分析は、感染拡大防止を図るための課題等を、県民の皆さんと広く共有し、今後の取組につなげるために行うものであり、特定の個人や団体等について評価や指導等を行うためのものではありません。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染しうる感染症であり、また、誰もが気付かぬうちに感染させてしまう可能性のある感染症です。関係する個人や団体等への偏見や誹謗中傷が生じないよう、ご理解をお願いしますとともに、当資料の適切なお取り扱いをお願いします。

1. 事業所クラスター

発生対応状況と 感染対策の課題

- 5/25探知（1例目発生）。6/2現在、県外届出を含め陽性者50名。
- 当該事業所は、今年に入ってから散発で4例の陽性者が発生しており、事業所内での感染拡大の懸念があったため、感染状況把握のための検査を実施することとし、行政検査のための検体採取を指示した。
- 保健所の指示とは別に事業所が自ら実施した簡易抗原検査で陽性が判明し、医療機関から発生届の提出があった。その後も、体調不良者や簡易検査で陽性が出たため医療機関を受診し、複数の医療機関から発生届の提出があった。
- 事業所内の特定の部署に陽性者が集中しているように見えたが、社員寮を利用している者も多数確認された。
- 多数の感染者が確認された後に密集環境で事業所内講習会を実施していたことが判明。当該講習会に参加した者から複数の陽性者を認めた。

事業者には、

- 寮におけるゾーニング、生活上の注意点等を指導する。
- 休憩室、更衣室は、換気不良、狭い、長椅子が対面に置かれている等の状況があり、改善を指導する。

県・保健所として、

- 先行感染者が食事や休憩、喫煙等により十分な感染対策がなされていない職場で感染を拡げ、寮内でも感染を拡げた。また、密集環境で講習会を実施したことにより、さらに感染を拡大させたと示唆された。
- 事業所内の休憩室、更衣室等の環境改善や密集環境を避けた講習会の実施、寮における生活などこれまで県が注意喚起してきた内容を十分に取り入れてもらえていないことが明らかとなった。
- 県民一人ひとりの行動がクラスター発生の抑制になることから、感染予防の基本を効果的に呼びかけ続ける必要がある。

クラスターの発生状況から得た考察・課題等(まとめ)

☆考察

- 濃厚接触者や検査対象者の特定のための従事者名簿の提出等の協力がなかなか得ることができなかった。これまでの散発事例と同様に社内に対応可能と考えた。
- 先行感染者が食事や休憩、喫煙等により、十分な感染対策がなされていない職場で感染を拡げ、寮内でも感染を拡げた。また、密集環境で講習会を実施したことにより、さらに感染を拡大させたと示唆された。
- 事業所内の休憩室、更衣室等の環境改善や密集環境を避けた講習会の実施、寮における生活などこれまで県が注意喚起してきた内容を十分に取り入れてもらえていないことが明らかとなった。
- 県民一人ひとりの行動がクラスター発生の抑制になることから、感染予防の基本を効果的に呼びかけ続ける必要がある。

☆これまでの繰り返しの課題

事業所に求められる課題

- 従事者等の体調を確認するシステムが不十分(体温のみの自己チェック表)。
- 休憩室、更衣室は、換気不良、狭い、長椅子が対面に置かれている等感染拡大防止対策は不十分であった。

個人に求められる課題

- 職場や家庭に感染を持ち込まないための対策を(職場内感染を防ぐ4つのポイント、家庭で気を付けていただきたい4つのポイント+1)

職場内感染を防ぐ 4 つのポイント

Point 1 出勤前後



- ✓体調に違和感がある場合は出勤を控える
- ✓体調不良者がいる場合の対応を決めておく
- ✓会食する際には感染予防をし、いつも一緒にいる人と

Point 2 工作中



- ✓体に不調を感じた時は早めに申告
- ✓職場内でも適宜、手洗い・消毒・換気などの基本的な感染対策を
- ✓対面で会話をするときにはマスクの着用や仕切りの設置
- ✓車内でもマスクの着用と換気を

Point 3 休憩時



- ✓会話の際はマスク着用
- ✓休憩・更衣・食事の時間をずらす
- ✓休憩時や喫煙時など一息つく場面では特に注意
- ✓共有物品の消毒と定期的な交換を

Point 4 新しい働き方の実践



- ✓テレワーク勤務の活用
- ✓ローテーション勤務の活用
- ✓時差出勤の活用
- ✓会議はオンラインで
- ✓体調不良者が休みやすい環境づくりを

家族を守るために 家庭で気を付けていただきたい4つのポイント

Point 1 家庭に持ち込まない



- ✓会食する際には**感染予防**をし、いつも一緒にいる人と

Point 2 家庭内で拡げない



- 普段接しない人とのマスクなしでの会話をした場合や、風邪などの症状がある場合は、
- ✓食事の**時間**をずらす
 - ✓部屋を**分ける**
 - ✓同室で過ごす場合は**マスクの着用**

Point 3 車の中でも感染対策を



- ✓**適度な換気**
(エアコンを外気導入にし、窓を開ける)
- ✓**マスクを着用**

+ 1 コロナに負けない健康づくりを

- ✓**栄養**や**休養**をしっかりとる
- ✓**適度な運動**の実施
- ✓**ストレス**をためない

Point 4 基本的な感染対策も十分に



- ✓帰宅時および**飲食前**には**手洗い**
- ✓**咳エチケット**の実践
- ✓**タオルの共有**をしない
- ✓部屋の**定期的な換気**
- ✓こまめな**共有部分の消毒**
(利用客への声掛けやテーブルに張るなど)

学校内感染を防ぐ4つのポイント

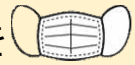


Point 1 基本的な感染対策を十分に



- ✓咽頭痛などの軽微な症状であっても風邪症状があれば、自宅療養する
- ✓学校内でもマスク着用する
- ✓学校内でも適宜、手洗い・消毒・換気
- ✓3密の回避を

Point 2 休み時間・会話時はマスク着用を



- ✓休み時間、昼食時は気が緩みがちです。
- ✓会話時は、対面距離を確保し、マスクを着けましょう
- ✓間近での会話や発声は控えましょう

Point 3 部活動は前後に注意



- ✓部室は密になりやすいので注意が必要
- ✓マスクを着用できない場合は他者と2m確保
- ✓熱中症対策はマスク着用よりも優先する。

Point 4 学校外での行動でも注意を



- ✓流行状況に応じて、学外での行動自粛を！
- また、マスクを外して会話や発生する外食やカラオケ等は控えよう。

+1 コロナに負けない健康づくりを



- ✓栄養や休養をしっかりとる
- ✓ストレスをためない
- ✓体調不良時はしっかりと伝える
- ✓適度な運動の実施

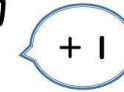
ポルトガル語

5 cuidados que devemos ter em casa para proteger nossas famílias

- Cuidado 1**: Não levar o vírus para casa
- Cuidado 2**: Não espalhar o vírus em casa
- Cuidado 3**: Prevenção dentro do carro também
- Cuidado 4**: Ter os cuidados básicos
- + 1**: Corpo saudável para não ser derrotado pelo vírus

中国語(简体字)

为了保护家人 在家中要注意的 四个环节



- Point 1**: 不要带入家中
- Point 2**: 避免在家中扩散
- Point 3**: 在车中也要采取防范措施
- Point 4**: 认真实行最基本的防范措施
- + 1**: 锻炼出战胜新冠肺炎的健康身体

スペイン語

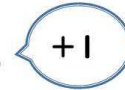
Para proteger su familia del nuevo coronavirus se le ruega que respete los siguientes 4 puntos en casa



- Punto 1**: No llevarlo a casa
- Punto 2**: No esparcirlo en el hogar
- Punto 3**: Tomar precauciones de contagio dentro del coche
- Punto 4**: Tomar medidas de básicas para la prevención de contagio y de la salud
- + 1**: Creando salud que sea competitiva con Corona

韓國語

가족을 지키기 위해 가정에서 주의해야 할 4개의 포인트



- 포인트 1**: 가정에 반입하지 않는다.
- 포인트 2**: 가정 내에서 퍼뜨리지 않는다.
- 포인트 3**: 차안에서도 감염 대책을
- 포인트 4**: 기본적인 감염 대책도 철저하게
- + 1**: 코로나에 지지 않는 건강 만들기를

ポルトガル語

4 cuidados para evitar contágios no trabalho



中国語(簡体字)

在工作岗位预防感染的4个重要环节



スペイン語

4 puntos esenciales para prevenir la infección en el lugar de trabajo



韓國語

직장 내 감염 예방 4개의 포인트



2. 飲食店クラスター

発生対応状況と 感染対策の課題

- 4月以降も飲食店クラスターや店名公表が続いた。
- 従業員はマスクをしていない、十分な距離を取らずに接待を行っている、パーテーション等の設置をしていない、換気が不十分である、マスクをせずにカラオケ等を行っているなどが確認された。

利用者には、

- マスクをせずに飲食していることがリスク行動であるという認識なし。
- 上記認識がないため、家庭、職場等においても十分な感染拡大防止策を行わなかったため、多くの二次感染を起こしてしまっている。

飲食店には、

- 利用客へのマスク会食の勧奨、客席の距離の確保、十分な換気、パーテーション等の設置、大皿ではない料理の提供の工夫、もしサポの利用等が必要。

県・保健所として、

- 飲食店の感染対策や飲食店の利用方法などこれまで県が注意喚起してきた内容を十分に取り入れてもらえていないことが明らかとなった。
- 県民一人ひとりの行動がクラスター発生の抑制になることから、感染予防の基本を効果的に呼びかけ続ける必要がある。

飲食店クラスターの発生状況から得た考察・課題等(まとめ)

☆考察

- 従業員はマスクをしていない、十分な距離を取らずに接待を行っている、パーテーション等の設置をしていない、換気が不十分である、マスクをせずにカラオケ等を行っているなどが確認された。
- 家族以外の者と飲食することが感染リスクを高めることの危機感が少ない。よって、そのリスク行動の後も感染拡大の予防行動をとらないため、家族・職場関係者等に二次感染をさせてしまう。

☆これまでの繰り返しの課題

飲食店に求められる課題

- 「みんなでつくる滋賀県安心・安全店舗 認証制度」の**認証を受けられる店舗づくりが必要**である。

個人に求められる課題

- **職場や家庭に感染を持ち込まないための対策を**(職場内感染を防ぐ4つのポイント、家庭で気を付けていただきたい4つのポイント+1、感染を防ぎ楽しく飲食するために気を付けていただきたい3つのポイント+1)

3. 医療機関クラスター

発生対応状況と 感染対策の課題

- 6/3探知（1例目発生）。その後、患者17名と職員5名の陽性者が確認されている。
- 5月22日から発熱を認める患者いたが、CTでは異常がなかった。抗生剤治療するも効果がないため、再度CTで確認したところ、異常影を認め、PCR検査を実施し陽性が確認された。
- 探知日までに発症している者が複数名いた。
- 発熱時の対応フローや取り決めはなく、熱源を検査し、特定できなければPCR検査を行う体制であった。
- 吸引時のエプロンは部屋の前にかけているものを繰り返し使用していた。
- 感染対策が徹底できていない状況であった。
- 感染源は不明だが、介護が必要な方もおり、職員を介した感染拡大が考えられた。
- ワクチンを2回接種している職員もいたが、接種後1週間以内に初発例が発症しており、十分に抗体がなかった時期に暴露した可能性がある。

医療機関には、

- 病棟のゾーニングについて指導する。
- PPEや感染対策について適切に利用・実施いただくよう指導する。

県・保健所として、

- 介護が必要（寝たきり）の患者もおられるため、職員を介して感染が拡大していることが示唆された。
- PPEの不適切な使用や、感染対策のため、感染拡大していることが考えられた。
- 1例目の探知までに時間がかかっており、発熱時の対応や取り決めをあらかじめ決めておくことで、早期探知できた可能性がある。
- 面会を基本中止していたことから、職員の持ち込みが考えられた。

医療機関クラスタの発生状況から得た考察・課題等(まとめ)

☆考察

- 面会を中止しており、患者さんの状況から、職員の持ち込みが考えられた。
- 発熱から陽性確認までに時間がかかったことで、感染が広がったと考えた。
- 感染が拡大する要因として、職員の感染対策が十分でなかったため、職員を介して感染が拡大したことが考えられる。
- 普段からリスク行動をとらないことの徹底が必要である。
- また、医療機関等においては、適切なPPEの利用や感染対策の実施が、感染拡大防止につながる。

☆これまでの繰り返しの課題

医療機関に求められる課題

- 職員が自分が媒体になりうることを理解し、行動を見直すこと。
- 早期探知が必要。
- PPEの適切な利用および感染対策が必要。

個人に求められる課題

- 職場や家庭に感染を持ち込まないための対策を(職場内感染を防ぐ4つのポイント、家庭で気を付けていただきたい4つのポイント+1)

4. 学校クラスター

発生対応状況と 感染対策の課題

- 4/26探知（1例目発生）。その後、同一学年の児童・生徒において18名陽性者が確認されている。
- 体調に違和感がありながら登校を継続しており、他の児童・生徒と学内外において行動を共にしている陽性者を認める。
- 最も発症が早い児童・生徒が所属するクラスに陽性者が多く、学内生活において、感染拡大した可能性が高い。昼食時にマスクなく会話していたことは、学内におけるリスク行動であったと考えられる。
- 同一クラスの児童・生徒との外食が感染経路となった可能性がある児童・生徒を複数認めている。また、自宅などで長時間行動をとともにしている児童・生徒を認める。
- 感染源は不明であったが、教職員に陽性者を認めないことから、学内および学外において児童・生徒間で感染拡大したと考えられる事例であった。

学校には、

- 学校内外において、基本的な対策、特に飲食前後の会話時のマスク着用を児童・生徒および教職員へ指導する。
- 児童・生徒の健康管理および体調に違和感がある場合も欠席を指導する。
- 流行状況に応じて、児童・生徒にも学外における行動自粛を指導する。

県・保健所として、

- 全国的に、クラスターの事例数および規模が大きいことが示されている高等学校においては、特に感染対策に関する理解および対策の徹底が必要である。
- 学校には、本事例の他にも複数の保健所から部活動後の行動等の改善が指摘されている。学校における対策の工夫が必要である。
- 児童・生徒に対して感染予防の基本を継続的かつ粘り強く呼びかける必要がある。

クラスターの発生状況から得た考察・課題等(まとめ)

☆考察

- 全国的に、クラスターの事例数および規模が大きいことが示されている**高等学校においては、特に感染対策に関する理解および対策の徹底が必要**である。
- **体調に違和感がある中で登校**することがなければ、本クラスターの規模は縮小できた可能性がある。
- 家族以外の者と長時間行動を共にすることやマスクなく会話することが、**感染リスクを高めることが理解されていない可能性**がある。流行状況に応じて、児童・生徒にも学外における行動自粛を指導することが必要である。
- **マスク着用の目的は、第一に「他者を守る」**であることを県民に理解いただくことが必要である。「自身を守る」は、マスク着用の第二の目的である。

☆これまでの繰り返しの課題

学校に求められる課題

- 職員および児童・生徒は、自分が媒体になりうることを理解し、行動を見直すこと。
- 早期探知が必要。

個人に求められる課題

- 学校や家庭に感染を持ち込まないための対策を(職場内感染を防ぐ4つのポイント、家庭で気を付けていただきたい4つのポイント+1)

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」におけるステージについて

本県の現状は、新規報告数等の感染状況は改善傾向にあるものの、医療提供体制への負荷は依然高い値で推移している。また、大阪府や京都府での緊急事態宣言は解除されるものの、解除後も「まん延防止等重点措置」が実施されることとなる。
これらの状況を踏まえ、引き続き「警戒ステージ」にあると判断する。

判断指標		警戒ステージ(ステージⅢ) の基準	現在の状況 (6月17日時点)	
医療体制等への負荷	①病床のひっ迫具合	病床全体	最大確保病床の占有率 ^{※1} 20%以上 現時点の確保病床数の占有率 ^{※2} 25%以上	最大確保病床の占有率 ^{※1} 41.9% 現時点の確保病床数の占有率 ^{※2} 41.9%
		うち重症者用病床	最大確保病床の占有率 ^{※3} 20%以上 現時点の確保病床数の占有率 25%以上	最大確保病床の占有率 ^{※3} 15.4% 現時点の確保病床数の占有率 15.4%
	②療養者数	人口10万人当たりの全療養者数 15人以上 (入院+自宅+宿泊)	人口10万人当たりの全療養者数 15.1人 (入院+自宅+宿泊)	
体監視	③PCR等陽性率	10%以上	2.3%	
感染状況	④新規報告数	15人/10万人/週 以上	6.9人	
	⑤直近1週間と先週1週間の比較 ^{※4}	直近一週間が先週一週間より 多い	少ない	
	⑥感染経路不明割合	50%以上	35.1%	

※1「最大確保病床の占有率」は、最大確保病床の数（372床）に対する割合

※2「現時点の確保病床数の占有率」は、確保済みの病床等の数に対する割合

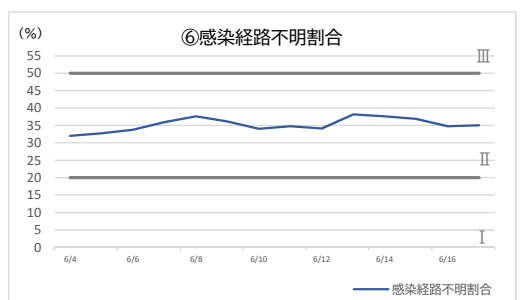
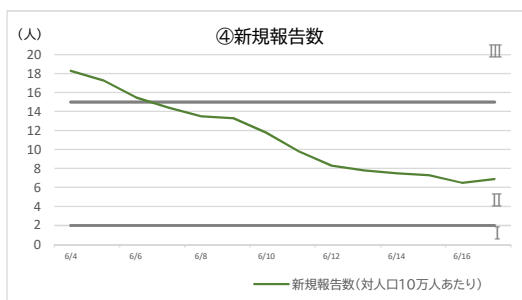
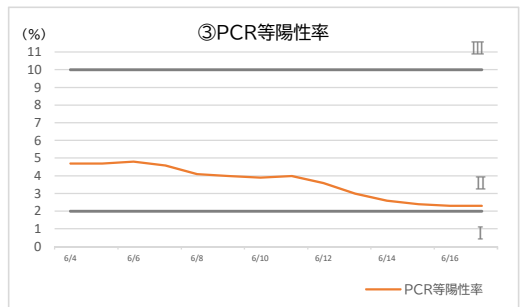
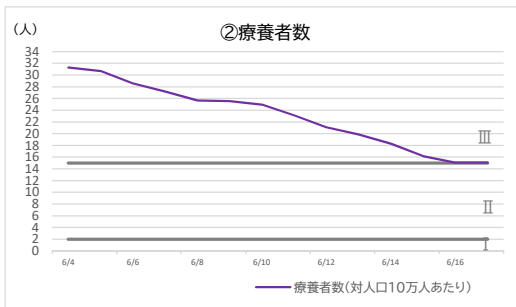
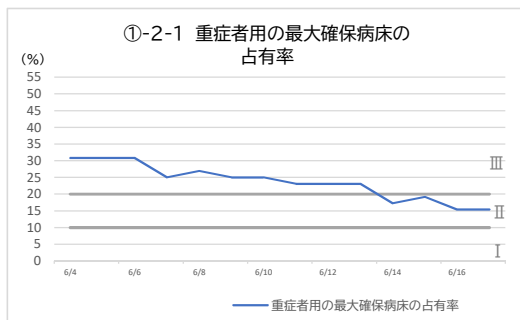
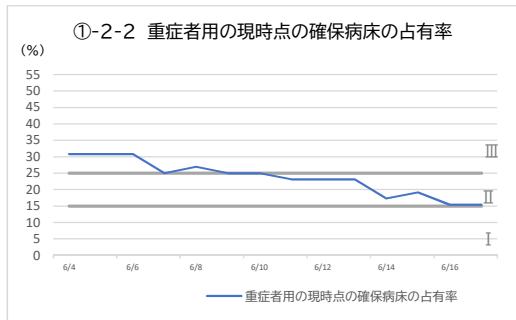
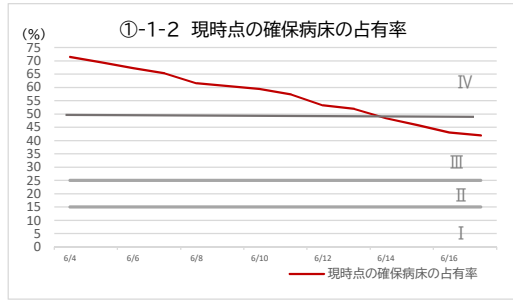
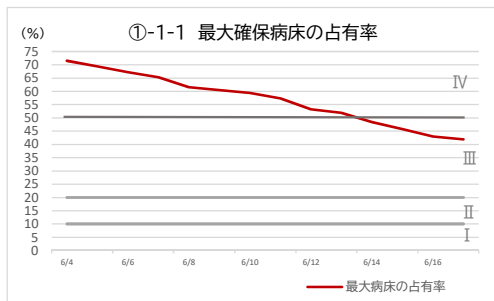
※3「うち重症者用病床の最大確保病床の占有率」は、確保計画病床の数（50床）に対する割合

※4「直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較」は、直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較して多いか少ないか記載

【参考】

■ステージ判断指標の推移について

判断指標		ステージⅢ相当	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17
医療体制等への負荷	①-1-1 最大確保病床の占有率(%)	20%以上	71.5	69.4	67.2	65.3	61.6	60.5	59.4	57.3	53.2	51.9	48.4	45.7	43.0	41.9
	①-1-2 現時点の確保病床の占有率(%)	25%以上	71.5	69.4	67.2	65.3	61.6	60.5	59.4	57.3	53.2	51.9	48.4	45.7	43.0	41.9
	①-2-1 重症者用の最大確保病床の占有率(%)	20%以上	30.8	30.8	30.8	25.0	26.9	25.0	25.0	23.1	23.1	23.1	17.3	19.2	15.4	15.4
	①-2-2 重症者用の現時点の確保病床の占有率(%)	25%以上	30.8	30.8	30.8	25.0	26.9	25.0	25.0	23.1	23.1	23.1	17.3	19.2	15.4	15.4
監視体制	②療養者数(人)(対人口10万人)	15人以上	31.3	30.7	28.6	27.2	25.7	25.6	25.0	23.1	21.1	19.9	18.3	16.2	15.1	15.1
	③PCR等陽性率(%)	10%以上	4.7	4.7	4.8	4.6	4.1	4.0	3.9	4.0	3.6	3.0	2.6	2.4	2.3	2.3
感染状況	④新規報告数(人)(対人口10万人)	15人以上	18.3	17.3	15.5	14.4	13.5	13.3	11.8	9.8	8.3	7.8	7.5	7.3	6.5	6.9
	⑤直近1週間とその前1週間の比	多い	0.98	0.91	0.77	0.70	0.68	0.69	0.64	0.53	0.48	0.50	0.52	0.54	0.49	0.58
	⑥感染経路不明割合(%)	50%以上	32.0	32.8	33.8	36.0	37.7	36.2	34.1	34.8	34.2	38.2	37.7	36.9	34.8	35.1



■ステージ判断指標の推移について

ステージ判断については、参考指標も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		特別警戒ステージ (ステージⅣ) 大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生、爆発的な感染拡大により、公衆衛生体制および医療提供体制が機能不全に陥ることを避ける対応が必要な段階	警戒ステージ (ステージⅢ) クラスターが広範囲に多発、感染者が急増し、医療提供体制への負荷がさらに高まる状況	注意ステージ (ステージⅡ) 感染者の漸増および医療提供体制への負荷が蓄積する段階	滋賀らしい生活 三方よしステージ ～新しい生活様式の実践～ (ステージⅠ) 感染者の散発的発生および医療提供体制に特段の支障がない段階
医療体制等への負荷	①病床のひっ迫具合				
	最大確保病床の占有率	50%以上	20%以上	10%以上	10%未満
	現時点の確保病床数の占有率		25%以上	15%以上	15%未満
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率	50%以上	20%以上	10%以上	10%未満
	うち重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率		25%以上	15%以上	15%未満
	②療養者数(入院+自宅+宿泊) (人口10万人あたり)	25人以上	15人以上	2人以上	2人未満
監視体制	③PCR等陽性率	10%以上	10%以上	2%以上	2%未満
感染状況	④直近1週間の新規報告数 (人口10万人あたり)	25人以上	15人以上	2人以上	2人未満
	⑤直近1週間と先週1週間の比較	直近一週間が先週一週間より 多い	直近一週間が先週一週間より 多い	直近一週間が先週一週間より 多い	-
	⑥感染経路不明割合	50%以上	50%以上	20%以上	20%未満

【参考指標】

- ・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況
- ・入院患者受入病床の稼働率(ピーク時の入院患者受け入れ病床数)
- ・感染経路不明の患者数
- ・実効再生産数(Rt)
- ・K値
- ・濃厚接触者を除くPCR等陽性率

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に 基づく対応について (令和3年6月18日)

資料 2

■ 現在、滋賀県は引き続き「警戒ステージ」です。

いつも一緒にいる人と県内で！

～社会経済文化活動との両立に向けて～

基本的な感染対策の徹底 ～私たちの行動で社会は変わります～

- ① 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避 など
- ② 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意
- ③ 家庭での感染対策を徹底(別紙1参照)
- ④ テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策を徹底(別紙2参照)

ワクチン接種後も基本的な感染対策の継続を！

往来について

緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等^(※)への往来は控えて！
(“いま、本当に行かなければならないか”)

会食について

- ① 屋内・屋外にかかわらず、いつも一緒にいる人と！
- ② 緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等^(※)での会食は控えて！

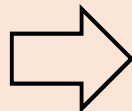
自身の対策とあわせて、
認証店をはじめ感染対策がとられている飲食店の利用を！
(別紙3・別紙4)

※ 飲食店の営業時間の短縮の要請等がなされている地域など

GoToEat
(※感染状況を踏まえて再開を検討)

・新規発行の一時停止
・発行済みの食事券等の利用も控えて！

「今こそ滋賀を旅しよう！」
スポーツサイクルレンタル助成事業



体験活動を充実させ再開に
向けて、準備を開始

湖岸緑地等の駐車場の閉鎖等は解除(6/21～)

(参考) 対策 (主なもの) の新旧

6月18日まで	6月19日以降
<p>基本的な感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">① 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など② 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意③ 家庭内での感染対策を徹底(別紙1参照)④ テレワーク・時差出勤など職場での感染対策を徹底(別紙2参照)	<p>基本的な感染対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">① 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など② 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意③ 家庭内での感染対策を徹底(別紙1参照)④ テレワーク・時差出勤など職場での感染対策を徹底(別紙2参照) <p>ワクチン接種後も基本的な感染対策の継続を!</p>
<p>往来について</p> <p><u>滋賀県と緊急事態宣言対象地域等との間の往来は控えて</u></p>	<p>往来について</p> <p><u>緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等への往来は控えて</u></p>
<p>会食について</p> <ul style="list-style-type: none">① 屋内・屋外にかかわらず、いつも一緒にいる人と!② <u>緊急事態宣言対象地域等での会食は控えて!</u>	<p>会食について</p> <ul style="list-style-type: none">① 屋内・屋外にかかわらず、いつも一緒にいる人と!② <u>緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等での会食は控えて!</u> <p>自身の対策とあわせて、<u>認証店をはじめ感染対策が取られている飲食店の利用を!</u></p> <p>(別紙3・別紙4)</p>

家族を守るために
家庭で気を付けていただきたい

4つのポイント **+1**

ポイント①

家庭に持ち込まない



- ✓ 会食する際には**感染予防**をし、
いつも一緒にいる人と

ポイント②

家庭内で
拡げない



普段接しない人とのマスクなしでの会話をした場合や、風邪などの症状がある場合は、

- ✓ 食事の**時間をずらす**
- ✓ 部屋を**分ける**
- ✓ 同室で過ごす場合は**マスクの着用**

ポイント③

車の中でも
感染対策を



- ✓ **適度な換気**
(エアコンを外気導入にし、窓を開ける)
- ✓ **マスクを着用**

ポイント④

基本的な感染
対策も十分に



- ✓ 帰宅時および**飲食前には手洗い**
- ✓ **咳エチケットの実践**
- ✓ **タオルの共有**をしない
- ✓ 部屋の定期的な**換気**
- ✓ こまめな**共有部分の消毒**

+1

コロナに負けない
健康づくりを



- ✓ **栄養や休養**をしっかりとる
- ✓ **適度な運動**の実施
- ✓ **ストレス**をためない

職場内感染を防ぐ

(別紙2)

4つのポイント

Point 1

出勤前後



- ✓ 体調に違和感がある場合は出勤を控える
- ✓ 会食する際には感染予防をし、いつも一緒にいる人と

Point 2

仕事中



- ✓ 体に不調を感じた時は早めに申告
- ✓ 職場内でも適宜、手洗い・消毒・換気
- ✓ 対面で会話をするときにはマスクの着用や仕切りの設置
- ✓ 車内でもマスクの着用と換気を

Point 3

休憩時



- ✓ 会話の際はマスク着用
- ✓ 休憩・更衣・食事の時間をずらす
- ✓ 休憩時や喫煙時など一息つく場面では特に注意

Point 4

新しい働き方の実践



- ✓ テレワーク勤務の活用
- ✓ ローテーション勤務の活用
- ✓ 時差出勤の活用
- ✓ 会議はオンラインで

感染を防ぎ楽しく**飲食**するために
気を付けていただきたい

3つのポイント

誰と

ポイント①



- ✓ 会食する際には**感染予防**をし、いつも一緒にいる人と

どこで

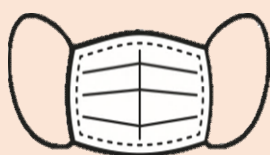
ポイント②



- ✓ 適切な換気や消毒など基本的な感染対策ができているお店で
- ✓ **座席やテーブルの配置は十分な距離**をおいて（密接な状況は特に注意を）
- ✓ 車内で飲食する際は**黙食と換気**を

どうやって

ポイント③



- ✓ **会話**の時は**マスク着用**
- ✓ 箸やコップを**使い回さない**
- ✓ **適度な酒量**で**大声**を出さず、**静かに**
- ✓ 体調が悪い場合は**参加しない**
- ✓ 少人数・短時間で
- ✓ 『もしサポ滋賀』のQRコードの読み取りを

飲食店に気を付けていただきたい

5つのポイント **+1**

ポイント①

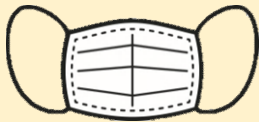
入店時に消毒を



- ✓ 入店時に**アルコール**による**手指消毒**の確認をしましょう
- ✓ 咳などの風邪症状がある場合には、入店をお断りする旨の**掲示**をしましょう

ポイント②

食事中以外はマスク着用を



- ✓ 食事中以外は、**必ずマスク**を着用するよう案内しましょう
- ✓ **従業員も必ずマスク**を着用しましょう
(フェイスシールドやマウスシールドだけでは不十分です。)

ポイント③

十分な距離の確保を



- 飛沫感染予防のため
- ✓ 全ての座席で対面距離を**1 m以上確保**しましょう
 - ✓ **パーティション**などで区切りましょう

ポイント④

十分に換気を



- ✓ できるかぎり**常時換気**をしましょう
- ✓ できない場合は、30分に1回以上数分程度、**2方向の窓**を**全開**にしましょう

ポイント⑤

接客サービスは距離の確保を



- ✓ 接待する従業員も**1 m以上間隔**を確保しましょう
- ✓ お酌等はやめましょう
- ✓ カラオケ時は、**2 m以上間隔**を確保し、**マスク**を着用しましょう

飲食店認証制度の認証を

+1



- ✓ 「**みんなでつくる滋賀県安心・安全店舗認証制度**」の認証を受けましょう
- ✓ 「**もしサポ滋賀**」のQRコードの読み取りをお願いしましょう

新型インフルエンザ等対策特別措置法 第24条第9項に基づく要請について

令和3年(2021年)6月18日
滋賀県新型コロナウイルス
感染症対策本部

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、下記のとおり協力の要請を行う。

記

1 感染対策の徹底

- ・ 基本的な感染対策の徹底(手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など)
- ・ 会食は、屋内・屋外にかかわらず、いつも一緒にいる人とする。
- ・ 緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等(※)での会食は控える。
- ・ 家庭でも、咳エチケット、こまめな換気と加湿、取手・ノブなどの共用部分の消毒を実践
- ・ 家族以外の方と接する場面では、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意。特に、グラスや箸の共用を控え、会食時であっても会話の際にはマスクを着用
- ・ 感染者が多数確認されている地域などではより注意して行動
- ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」、接触確認アプリ「COCOA」の活用

※飲食店の営業時間の短縮の要請等がなされている地域 など

2 施設・事業所における感染防止策の徹底

- ・ 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底。利用者にも感染防止策への協力を依頼
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の導入と「感染予防対策実施宣言書」の掲示
- ・ テレワーク・時差出勤の推進

3 外出について

- ・ 生活の維持に必要な場合を除き、緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置実施区域等(※)への往来は控える。

※飲食店の営業時間の短縮の要請等がなされている地域 など

4 イベント開催について(当面令和3年8月末まで)

(1) イベントを開催する場合は以下の目安で開催

<基本的な考え方>

必要な感染防止策が担保される場合には、収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。

時期	収容率の目安		人数上限の目安
当面令和3年8月末まで	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等 ・飲食を伴うが発声はないもの(※1)	大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等	① 収容人数 10,000 人超 ⇒収容人数の 50% ②収容人数 10,000 人以下 ⇒5,000 人
	100%以内 〔席がない場合は適切な間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)〕	50%以内(※2) 〔席がない場合は十分な間隔(1m)〕	

※1 「イベント中の食事を伴う催物」は、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、イベント中の食事を伴う場合についても、「大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの」と取り扱う。

※2 異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限る。)内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

(2) 大規模イベントにおける感染防止策の事前相談

全国的な移動を伴うイベントや参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定されている場合の滋賀県新型コロナ対策相談コールセンターへの相談

【滋賀県新型コロナ対策相談コールセンター】

- 電話番号:077-528-1344
- 開設時間:9:00~17:00(平日のみ)

感染リスクが高まる

「5つの場面」

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



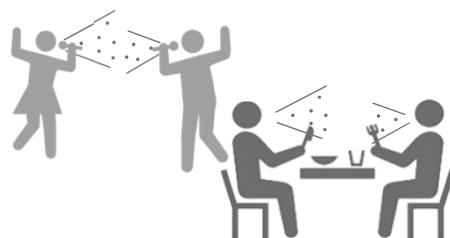
② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



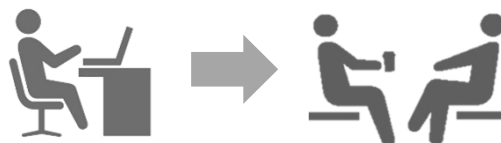
④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



ワクチン接種について

令和3年6月18日(金)
ワクチン接種推進室

接種状況

資料3

	1回目接種	2回目接種
医療従事者等	47,020人	41,222人
高齢者	124,751人	34,292人
計	171,771人	75,514人

6月18日8:30時点
V-SYS反映分

専門相談

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

令和3年3月1日～令和3年6月13日

総件数	手段内訳			内容内訳			
	電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他
日中	10,875	11	38	921	2,094	584	7,276
夜間	596	0	0	276	62	81	177
合計	11,471	11	38	1,197	2,156	665	7,453

※1 日中...午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)...午後6時から午前9時まで

※2 その他...当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種に関する苦情や接種の予約など

職域接種

ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、6月21日から、企業や大学等において、職域(学校等を含む)単位でのワクチン接種開始

◆県内事業所からの6月17日現在の

- ・ 申請件数: 39件
- ・ 相談件数: 202件(職域接種相談デスク対応件数)

大規模接種

市町における一般接種の加速化を図るため、職種を限定した大規模接種会場を設置・運営する

1. 名称: 滋賀県広域ワクチン接種センター
2. 開設日時: 令和3年7月10日(土)~12月24日(金) ※ 最終調整中
3. 設置場所: 大津会場: Oh! Me大津テラス
彦根会場: 滋賀県立大学
4. 対象者: 次の表に該当する者 約6万人

職種		人数(概数)	備考
警察		3,000	警察官、警察職員
教職員		10,000	幼・小・中・高・大学・特別支援学校 (事務職員・用務員等を含む)
消防職員		200	未接種者
福祉職員	介護	20,000	介護保険施設、居宅サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域密着型サービス事業所、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住 等
	障害	8,000	入所・通所・訪問・相談支援 等
	保育	17,000	保育所・こども園、認可外保育施設・児童クラブ・児童養護施設 等
その他	医療従事者	—	未接種者
	柔道整復師	800	
	あんま等	1,700	按摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
計		60,700	

※私立・公立、常勤・非常勤を問わない

5. 接種回数: 1,000回程度/日(順次、拡大予定)
6. 予約方法等
 - (1)警察、教職員、消防職員
→ 7月1日より、接種希望者(職場ごとに取りまとめ)の受付
 - (2)福祉職員(介護、障害、保育)、その他(医療従事者、柔道整復師、あんま等)
→ 予約システムによる受付(システム稼働後)